

JEC-2330-1986

電気学会 電気規格調査会標準規格

電力ヒューズ

目 次

1. 適用範囲	9
2. 用語の意味	9
2.1 ヒューズの種類	9
2.2 ヒューズの部品	9
2.3 定 格	9
2.4 特 性	9
2.5 回復電圧	10
2.6 試 験	10
3. 使用状態	10
3.1 常規使用状態	10
3.2 特殊使用状態	10
4. 定 格	11
4.1 項 目	11
4.2 定格電圧	11
4.3 定格耐電圧	11
4.4 定格電流	12
4.5 定格周波数	12
4.6 定格遮断電流	12
4.7 最小遮断電流	12
5. 特 性	14
5.1 項 目	14
5.2 温度上昇	15
5.3 時間—電流特性	15
5.4 繰返し過電流特性	17
5.5 最小溶断 I^2t	17
5.6 限流特性	17
5.7 最大動作 I^2t	17

5.8	動作過電圧	18
6.	形式試験	18
6.1	形式試験	18
6.2	構造点検	19
6.3	抵抗測定	19
6.4	開閉試験(断路形ヒューズのみ)	19
6.5	温度上昇試験	19
6.6	ワット損試験	20
6.7	耐電圧試験	20
6.8	溶断特性試験	21
6.9	許容時間—電流特性試験	22
6.10	繰返し過電流試験	23
6.11	遮断試験	23
7.	受入試験	31
7.1	受入試験	31
7.2	構造点検	31
7.3	抵抗測定	31
7.4	開閉試験(断路形ヒューズのみ)	32
7.5	商用周波耐電圧試験	32
7.6	試験結果の表示	32
8.	表示	32
8.1	ヒューズホルダの表示事項	32
8.2	ヒューズリンクの表示事項	32
8.3	明示事項	32
附 属 書		34
1.	標高1,000mを超える場合の耐電圧と温度上昇	34
2.	種類Gヒューズの溶断特性について	34
3.	I^2t の求め方	35
4.	短絡力率の決定法	38
5.	波形の狂い率決定法	41
6.	過渡回復電圧規約値の決定法	42
7.	受入試験結果の記入例	43
参 考		44
1.	投入位相角の決定法	44
2.	発弧瞬時電流の求め方	44
3.	電力ヒューズの適用方法	45

解	説	56
1.	R 10 数 列	56
2.	溶断特性の規約時間表示	56
3.	ヒューズの種類 G の溶断特性	56
4.	許容時間—電流特性	56
5.	繰返し過電流特性	57
6.	ヒューズと回路の固有過渡回復電圧	57
7.	限流ヒューズの遮断試験系列	60
8.	遮断試験における回復電圧	60
9.	限流ヒューズの遮断試験における投入位相角と発弧位相角	61
10.	非限流ヒューズの遮断試験系列	61